



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1108		
科目名	宗教学 2		
担当教員	上野山 晃弘		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 3		
講義室	1206	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D 〔市民的素養・市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2-A 〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 A1 グローバル感覚（30%） D1 市民的素養と参加（40%） I1 理解・分析と読解（30%）		
教員の実務経験	特にありません。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期～3 発展期		
科目概要・キーワード	豊かな将来社会を創造するためには、現代社会において生じている宗教的な諸問題に対する知識が不可欠です。この科目では、仏教思想を通じて宗教学に関する基礎的な知識を修得します。そのことにより、現代の諸問題を宗教学的な観点から考察するための基礎的知識を修得し、宗教学に関する教養に支えられた豊かな人格を形成することが目的です。 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。（キーワード）仏教の思想と文化・宗教と現代社会・比較宗教		
授業の趣旨	■副題 この授業では、仏教の思想文化史を主要な考察対象としつつ、宗教学の基礎知識を修得し、その理論的・実践的意義を探究します。 ■授業の目的 日本大学の自主創造の理念にもとづいて、宗教学に関する基礎知識を修得し、現代社会の諸問題を宗教学的な観点から（学問的・客観的に）自ら考察・分析できるようになることを目的とします。 ■授業のポイント 講義・グループワーク・リアクションペーパーへの取り組みを通して、宗教学的な基礎知識と思考法の修得をめざします。		

総合到達目標	■「市民的教養」、「多様な価値を受容する姿勢」、「理解力・分析力」を総合的に修得するために、宗教学の基礎知識を修得した上で、現代社会の諸課題に対する問題意識を深め、問題解決に向けて宗教学的な観点から自らの考えを形成できるようになる。 ・宗教学の基礎知識を修得し、その意味を深く考察できる（第1回～第15回）。 ・基本的なテキストを読解し、解釈できる（第2回～第12回）。 ・他の学生と意見交換（対話）を行うことができる（第2回～第12回、第15回）。 ・自らの考えを文章として論理的に表現できる（第2回～第15回）。 ・現代社会の諸問題に深い関心を持ち、それを宗教学的な観点から考察できる（第2回～第15回）。	
成績評価方法	■リアクションペーパー14回（42%）：適用ルーブリック A1・D1・I1 （評価の観点）授業内容の理解力、考察力、論理的な文章力をはかります。 （フィードバック方法）授業時間中に講評・解説を行います。 ■授業内試験1回（58%）：適用ルーブリック A1・D1・I1 （評価の観点）授業内容の理解力、考察力、論理的な文章力をはかります。 （フィードバック方法）授業時間中に出題意図の説明を行います。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	①「宗教学」に関心と学修意欲があること（毎回の授業に参加する意思があること）。 ②授業内試験およびリアクションペーパーにおける不正行為は厳禁です。 ③初回にシラバスの詳細を説明しますので必ず出席してください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 宗教学を学ぶ意義 ②授業概要 シラバスの詳細について理解した上で（I1）、宗教学を学ぶことの意義について考察できるようになる（D1）。 ③予習（120分） シラバスを熟読し、現代社会の諸問題（宗教学に関連する問題）について図書館やインターネットを活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容をふりかえり、現代社会において宗教学を学ぶ意義についてさらに考察を深める。
	2	①授業テーマ 原始仏教（1）ブッタのことば（慈悲を中心に） ②授業概要 ブッタのことば（慈悲を中心に）に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） ブッタのことば（慈悲を中心に）に関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） ブッタのことば（慈悲を中心に）についての理解を深め、その現代的意義に関する自分の考えをさらに深める。
	3	①授業テーマ 原始仏教（2）ブッタのことば（平和主義を中心に） ②授業概要 ブッタのことば（平和主義を中心に）に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） ブッタのことば（平和主義を中心に）に関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） ブッタのことば（平和主義を中心に）についての理解を深め、その現代的意義に関する自分の考えをさらに深める。
	4	①授業テーマ 原始仏教（3）ブッタのことば（四聖諦を中心に） ②授業概要 ブッタのことば（四聖諦を中心に）に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） ブッタのことば（四聖諦を中心に）に関する基礎知識について図書館等を活用して調

		べる。 ④復習（120分） ブッタのことば（四聖諦を中心に）についての理解を深め、その現代的意義に関する自分の考えをさらに深める。
5		①授業テーマ 大乘仏教（1）般若心経（基礎） ②授業概要 大乘仏教（般若心経）に関する基礎知識を修得し（I1）、他の学生と意見交換（対話）した上で、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） 般若心経に関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 般若心経に関する基礎知識について理解を深め、その現代的意義に関する自分の考えをさらに深める。
6		①授業テーマ 大乘仏教（2）般若心経（発展） ②授業概要 大乘仏教（般若心経）に関する発展的知識（とくにその現代的意義に関する知識）を修得した上で（I1）、その理論的・実践的可能性について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） 般若心経に関する発展的知識（とくにその現代的意義に関する知識）について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 般若心経に関する発展的知識（とくにその現代的意義に関する知識）について理解を深め、その理論的・実践的可能性に関する自分の考えをさらに深める。
7		①授業テーマ 日本仏教（1）親鸞 ②授業概要 日本仏教（親鸞）の思想に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） 日本仏教（親鸞）に関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 日本仏教（親鸞）についての理解を深め、その現代的意義に関する自分の考えをさらに深める。
8		①授業テーマ 日本仏教（2）道元 ②授業概要 日本仏教（道元）の思想に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） 日本仏教（道元）に関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 日本仏教（道元）についての理解を深め、その現代的意義に関する自分の考えをさらに深める。
9		①授業テーマ 仏教と西洋思想（1）ショーペンハウアー ②授業概要 近代西洋の哲学者（ショーペンハウアー）が仏教をどのように解釈したのかということに関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） ショーペンハウアーの宗教思想に関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） ショーペンハウアーの宗教思想についての理解を深め、その現代的意義に関する自分の考えをさらに深める。
10		①授業テーマ 仏教と西洋思想（2）ニーチェ ②授業概要 近代西洋の哲学者（ニーチェ）が仏教をどのように解釈したのかということに関する

		基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） ニーチェの宗教思想に関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） ニーチェの宗教思想に関するニーチェの思想についての理解を深め、その現代的意義に関する自分の考えをさらに深める。
11		①授業テーマ 仏教と現代（1）「宗派的共同性」をめぐる議論 ②授業概要 宗派的共同性をめぐる議論に関する基礎知識を修得し（I1）、他の学生と意見交換（対話）した上で、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） 宗教に関係する現代社会の諸問題について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 宗派的共同性をめぐる議論についての理解や自らの考えをさらに深める。
12		①授業テーマ 仏教と現代（2）「政治的公共性」をめぐる議論 ②授業概要 政治的公共性をめぐる議論に関する基礎知識を修得し（I1）、他の学生と意見交換（対話）した上で、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） 宗教に関係する現代社会の諸問題について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 政治的公共性をめぐる議論についての理解や自らの考えをさらに深める。
13		①授業テーマ 宗教学と現代社会の諸問題（1）まとめと理解度の確認 ②授業概要 今学期の学びをふりかえり、その要点をまとめるとともに、その現代的意義に関して自分の考えを論理的に表現できるようになる（A1・D1・I1）。授業内試験とまとめの授業を実施します（授業時間中に出題意図の説明を行います）。 ③予習（120分） 授業内容をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分） 自分の考察結果についてふりかえり、宗教学的な知識とその現代的意義についてさらに自らの考えを深める。
14		①授業テーマ 宗教学と現代社会の諸問題（2）小括 ②授業概要 今学期の授業内容に関する理解を深め（I1）、その意義を現代社会の諸問題との関連の中でさらに具体的に考察できるようになる（A1・D1）。 ③予習（120分） 授業内容の全体をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分） この授業での学びをふりかえり、自分の考えをさらに深める。
15		①授業テーマ 総括 ②授業概要 今学期の学びをふりかえり、他の学生と意見交換（対話）した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる（A1・D1・I1）。 ③予習（120分） 授業内容をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分） 自分の考察結果についてふりかえり、宗教学的な知識とその現代的意義についてさらに自らの考えを深める。
関連科目		宗教学 1（RMGT/SSCS1107）
教科書		授業時間内に資料を配付します。
参考書・参考URL		小寺聡（編）『もういちど読む山川倫理』（山川出版社、2011年） 小寺聡（編）『もういちど読む山川哲学 ことばと用語』（山川出版社、2015年） 小寺聡（編）『もういちど読む山川倫理PLUS 人生の風景編』（山川出版社、2022年）

	島蘭進ほか（編）『いまを生きるための宗教学』（丸善出版、2022年） その他については授業時間内に指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知します。 ■オフィスアワー：開講時に告知します。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.